

令和8年3月10日14時00分  
近畿地方整備局

## CNP 認証（コンテナターミナル）制度 3月16日認証書交付式開催！

～近畿地方整備局管内3件目となる認証～

国土交通省では、「2050年カーボンニュートラル」等の政府目標の下、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化や水素・アンモニア等の受入環境の整備等を図るカーボンニュートラルポート（CNP）の形成を推進しております。

コンテナターミナルにおける脱炭素化の取組の透明化を図り客観的に評価する「CNP認証（コンテナターミナル）」<sup>※1</sup>が創設（令和7年3月）され、令和7年6月30日より申請受付を開始しております。

今般、「堺泉北港助松コンテナターミナル<sup>※2※3</sup>」が近畿地方整備局管内において3件目となるCNP認証制度の認証を受けましたので、3月16日に認証書の交付式を開催します。

※1：詳細は参考資料1をご参照ください。

※2：認証結果について国土交通省港湾局HPで公表されています。

（国土交通省港湾局HP（[https://www.mlit.go.jp/report/press/port04\\_hh\\_000552.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/port04_hh_000552.html)）を参照ください）

※3：「堺泉北港助松コンテナターミナル」の認証の詳細は参考資料2をご参照ください。

### 1. 概要

日時：令和8年3月16日（月）16時00分～（1時間程度）  
会場：近畿地方整備局（神戸市中央区海岸通29神戸地方合同庁舎6F）  
主催：国土交通省 近畿地方整備局 港湾空港部

### 2. 取材

- ・認証書交付式について取材をご希望の方は、3月13日（金）12時までに、別紙1の取材申込要領に沿って、メールにて事前申し込みをお願いします。

<取扱い> \_\_\_\_\_

<配布場所> 神戸海運記者クラブ、神戸民放記者クラブ、みなと記者クラブ、神戸経済記者クラブ、港湾新聞社、マリタイムデーリーニュース社、海事プレス、港湾空港タイムス

<問い合わせ先>

国土交通省 近畿地方整備局 港湾空港部 港湾計画課  
担当：課長 山田 和夫（やまだ かずお）  
課長補佐 金澤 功樹（かなざわ いさき）

[Tel:078-391-8361](tel:078-391-8361)（直通）

## 取材申込要領

取材を希望される場合は、電子メールにて以下①から④をメール本文に記載の上、  
近畿地方整備局港湾計画課あてメール：[pa.kkr-hnk-keikaku-press@nyb.mlit.go.jp](mailto:pa.kkr-hnk-keikaku-press@nyb.mlit.go.jp)  
に3月13日（金）12時までにお申し込み下さい。

①会社名

②担当者氏名（複数名参加の場合は全員分）

③連絡先（電話番号及びメールアドレス）

※電話番号は、取材当日に連絡可能な連絡先（携帯）を記入してください。

④来場車両ナンバー

（補足）

当日は、プレス関係の腕章を着用し15：50までに会場へお越しください。

- 2025年6月、コンテナターミナルにおける脱炭素化の取組を客観的に評価する「CNP認証(コンテナターミナル)」の運用を開始
- ポートセールスでの活用とともに、CNP形成に向けたターミナル間での競争と、カーボンニュートラルの観点で荷主や船社等によるターミナルの選択が可能となることを期待

## 制度の概要

※申請は無料です

- 対象
  - ・日本国内のコンテナターミナル
- 申請者
  - ・港湾管理者が運営するターミナル  
→ 港湾管理者
  - ・民間事業者が運営するターミナル  
→ 借受者又はターミナルオペレーター
- 認証者
  - ・国土交通省港湾局
- 評価方法・基準
  - ・「要求事項」の達成状況を5段階で評価
  - ・「推奨事項」の達成状況を「+」の数で評価
- 認証有効期間
  - ・3年





# CNP認証の評価基準

- 評価の対象は、①貨物取扱に関する取組、②船舶・車両の脱炭素化、③その他の取組
- レベル1～5の5段階で認証、各レベルで設定している「要求事項」を全てを満たすことが必要
- 「推奨事項」を満たしている場合、その項目数に応じて「+」を付加

## CNP認証(コンテナターミナル)評価基準

大分類	主な取り組み	要求事項(レベル1～5)					推奨事項(+)
		1	2	3	4	5	
貨物取扱に関する取組	脱炭素化に向けた計画を作成	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構内トラクター電動化など</li> <li>・リーファー施設、管理棟の省電力化など</li> </ul>
	脱炭素化対応荷役機械の導入	-	10%	50%	80%	100%	
	LED照明などの導入	-	10%	50%	80%	100%	
船舶・車両の脱炭素化	環境に配慮した船舶への入港インセンティブ付与	-	-	-	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船舶への陸上電力の供給</li> <li>・次世代船舶燃料の供給</li> <li>・大型商用EV・FCV等に対するインセンティブ</li> </ul>
	ゲート予約システムの導入	-	-	-	○	○	
その他	上記以外の低・脱炭素化の取組	-	-	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低・脱炭素化された電力・燃料の利用</li> <li>・環境配慮タグボートの導入</li> </ul>

○ 2025年度は10ターミナル(9月:5箇所、11月:2箇所、3月:3箇所)を認証

## 認証済みのターミナル

認証時期	港湾・ターミナル名	認証レベル
2025年 9月	博多港アイランドシティ コンテナターミナル	レベル5+ ★★★★★
2025年 9月	川崎港コンテナターミナル	レベル4+ ★★★★☆
2025年 9月	名古屋港鍋田ふ頭 コンテナターミナル	レベル3++ ★★★☆☆
2025年 9月	大阪港南港コンテナターミナル C-1/4	レベル2+ ★★☆☆☆
2025年 9月	高松港コンテナターミナル	レベル1 ★☆☆☆☆
2025年11月	大阪港夢洲コンテナターミナル C10, C11, C12	レベル2++ ★★☆☆☆
2025年11月	八戸港 多目的国際物流ターミナル	レベル1 ★☆☆☆☆

## 今回認証するターミナル

認証時期	港湾・ターミナル名	認証レベル
2026年 3月	堺泉北港 助松コンテナターミナル	レベル1+ ★☆☆☆☆
2026年 3月	三河港豊橋コンテナターミナル	レベル1+ ★☆☆☆☆
2026年 3月	四日市港コンテナターミナル	レベル1+ ★☆☆☆☆

※制度概要や認証ターミナルの情報については、  
CNP認証ポータルサイト(下記QRコード)でも周知



CNP認証ポータルサイト

# CNP認証の効果、制度に対する意見等

○ これまでに認証を取得したターミナルに対し、アンケートを実施

■ Q：今回、CNP認証を申請された理由、キッカケについてご教示ください。

✓ 客観的評価による信頼性向上と脱炭素化の取組を見える化

「これまでの脱炭素・省エネの取組を国の制度で正式に評価してもらえることに魅力を感じた」

「これまで評価される場がなかった取組を見える化できる点に意義を感じた」

「これまで行ってきたカーボンニュートラルの取組について客観的に評価してほしかったため」

✓ 港湾の認知度・利用価値の向上

「港湾の認知度や利用価値が高まり、荷主や船会社にとって信頼性のある選択基準になると考えた」

✓ PR効果と競争力強化

「CNPの取組を広くPRできる機会として活用したい」

■ Q：CNP認証後の具体的な効果（今後期待される効果等含む）についてご教示ください。

✓ 認知度・話題性の向上

「認証取得後の問い合わせや具体的な利用促進効果はまだ限定的」

「関係者間で話題となり、複数のメディアで報道されるなど、CNP認証の認知度が高まった。」

「脱炭素取組の可視化これまでの取組を対外的に示す機会となり、社外への認知向上に寄与。」

「国や自治体から、認証されると企業イメージがあがり、新規採用時のPR等にも使える。」

✓ 今後の活用意向

「ターミナル説明や営業活動で認証を活用し、荷主・船社への利用促進を図る予定。」

# CNP認証の国際展開に向けた取り組み

- 現在、CNP認証の国際展開に向けた取り組みとして、同制度の国際版を策定し、ICHCA(国際荷役調整協会)ガイドラインとしての発行に向けた調整を行っている
- CNP認証の国際的認知度向上及びCNP認証を取得したターミナルの社会的な信用度やブランド力の向上を期待




**GUIDELINES FOR THE CERTIFICATION SYSTEM  
FOR DECARBONIZATION EFFORTS  
AT PORT TERMINALS**

ICHCA International Guideline #@@

## 国際荷役調整協会 (ICHCA) の概要

- ICHCA(International Cargo Handling Co-ordination Association)は、貨物の荷役と運送の効率化、経済性の向上、安全・衛生・環境調和の向上に貢献することを目的として、情報共有や、各種ガイドラインの作成を実施している国際組織
- ICHCAのガイドラインに法的拘束力はないが、世界各国で参照
- 会員には世界(約100か国)から港湾運営会社、ターミナルオペレーター、物流事業者、船社、保険会社、調査会社、政府機関、メーカー等が参画しており、国連専門機関への正式な諮問機関となっている

## ICHCA版CNP認証ガイドラインの概要

- ガイドラインの位置づけ
  - ✓ 日本のCNP認証制度を、ICHCA版のガイドラインとして再編集
  - ✓ ガイドラインは、ICHCAと国土交通省の連名で発行
- 期待される効果
  - ✓ CNP認証制度の国際的認知度が向上し、ターミナルの脱炭素化の取組に係る日本のプレゼンスの向上に寄与する
  - ✓ 認証取得ターミナルの社会的な信用度やブランド力の向上が図られ、ターミナルの利用促進や競争力強化にも資する



# 堺泉北港助松コンテナターミナル



脱炭素化の取組主体	主な取組内容
堺泉北埠頭株式会社 大阪府	港湾脱炭素化推進計画の策定
	インバータ制御方式のガントリークレーンの導入
	環境に配慮したタグボートの導入

認証レベル  
Level 1+  
(認証日 令和8年3月10日)

CO<sub>2</sub>排出量原単位  
5.48 kgs CO<sub>2</sub> / TEU

[ターミナル概要]  
堺泉北港助松コンテナターミナルは、岸壁延長480m、水深12m、ヤード面積約23万㎡が整備されています。  
外航定期コンテナ航路としては、中国華北（青島）と中国華中（上海）及び東南アジア（ベトナム、タイ等）の2航路があります。また、神戸港で外航サービスに接続する国際フィーダー航路が運航されています。  
今後、ヤード照明のLED化など、カーボンニュートラルポートの形成に取り組んでいきます。



インバータ制御方式による  
ガントリークレーン



大阪みなとカーボンニュートラルポート（CNP）  
推進協議会



LNG燃料タグボート「いしん」